

年賀じまいの 世の中ですが

一年末年始業務について窓口を開催

年賀はがきの販売が始まりました。2026年用の発行枚数は、前年比30.1%減の7億5千万枚といわれています。年賀はがきのピークは、2003年の約44億5000万枚でしたが、最近は「年賀じまい」もよく耳にしますし、また昨年10月には値上げもあり、年賀はがきは減少し続けています。

年賀販売のノルマに追われ「自爆営業」が全国で発生していたのがうそのようです。（現実には、きついノルマや上司のパワハラが

まり通る局もまだまだあります。）



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

年繁要求の回答を今後受け、交渉を本格化していきます。

●年賀予想物数
対前年 69.1%

●ゆうパック予想物数
対前年 89.0%

とはいえ、ゆうパケット等の荷物の取り扱い物数が増加傾

向にあり、また、ブラックフライデーのセールといった年末商戦の荷物によって、11月から繁忙期がはじまり、年々その比重が大きくなっているのも現状です。

●引受・到着の予想。ピーク年賀 12月26日

ゆうパック 12月9日

●短期アルバイト雇用計画

郵便部128人

(年賀108人・大口引受

20人)

●昨年比マイナス63人

輸送部44人

●昨年比マイナス4人

●輸送部短期の事前研修

11月16・17日予定

●その他、シャトルバスは22時

すでに10月6日に提出した

15分局発1便の予定



支部は、10月28日及び11月7日、今年末繁忙に関する窓口を行いました。

年賀販売のノルマに追われ「自爆営業」が全国で発生していたのがうそのようです。（現実には、

きついノルマや上司のパワハラが